【投稿・執筆規定】（2025 年 10 月 16 日改定）

I. 概要

内容: MHC に関する基礎研究から臨床研究まで全てを対象にし，未発表の論文，他誌に投稿中（もしくは掲載予定）でないものに限る。

資格: 筆頭著者および責任著者は本学会会員であり，その他の共著者も，原則として，本学会会員に限る。ただし，編集広報委員会が非会員に執筆を依頼した総説については，その限りでない。

倫理: ヒトおよびヒトの試料を用いた臨床研究・基礎研究の場合，ヘルシンキ宣言（「人の参加を伴う医学研究のための倫理原則」，1964 年第 18 回世界医師会 ヘルシンキ総会採択，2024 年第 75 回ヘルシンキ総会修正)に基づき，文部科学省等が定める関連倫理指針（「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」，「ヒト ES 細胞の分配及び使用に関する指針」，「ヒト iPS 細胞又は ヒト組織幹細胞からの生殖細胞の作成を行う研究に関する指針」等）に従うと共に，所属施設等の倫理審査委員会等の審査を経て，承認を得たものでなければならない。また，遺伝子組換え実験は「遺伝子組換え生物等の使用等の規制による生物の多様性の確保に関する法律（いわゆるカルタヘナ法）」，動物を用いた研究については動物愛護管理法に基づく「実験動物の飼育及び保管等に関する基準」(2006 年環境省告示)などを遵守し，それぞれ所属施設における関連委員会等にて所定の手続きによる審査・承認のもとに行われた研究でなければならない。

種類: 原著，総説，シリーズ，短報(研究速報，技術速報などを含む)，症例報告などとし，日本語，英語を問わない。

利益相反の開示：MHC に原著論文もしくは総説を掲載する場合には，本学会が指定する様式を用いて，利益相反事項について開示しなければならない。下記，「6. 利益相反事項の開示」参照のこと。

研究不正行為等がないことの申告：MHC に投稿する論文等の執筆において，全研究活動における不正行為への対応等に関するガイドライン（平成 26 年 8 月 26 日文部科学大臣決定）に定義する研究不正行為等の不適切な研究行為が

Presented by Medical*Online

ないことを，投稿論文チェックシート（ https://jshi.smoosy.atlas.jp/ja/instruction_for_authors を参照のこと）を用いて申告しなければならない。

生成 AI（文章作成ツール、ChatGPT など）の使用について：MHC に投稿する論文等を作成する際の生成 AI の使用は文章校正に限る。データを与えて構成した論文等の投稿を禁ずる。

審査: 投稿論文掲載の採否は編集広報委員会において決定し，審査は複数名の査読制で行う。審査の結果を踏まえ修正，削除，加筆などを求める場合がある。

著作権: 本誌に掲載された論文などの著作権は日本組織適合性学会が有し，インターネットを通じて電子配信されることがある。とくに，原著，総説については，原則として，科学技術振興機構（JST）が運営する電子ジャーナル配信サイト（J-STAGE）にて配信される。

掲載料: 掲載は無料であるが，特殊な加工を必要とする図等を掲載する場合には，著者の実費負担とする(特殊加工を希望の場合には，投稿原稿にその旨を明記すること)。 また，投稿者の都合により変更や差し替えを行う場合に発生した費用については，投稿者の負担とする。

別刷: 別刷は作成しない。

※論文の構成や形式等について疑問や不安等がある場合には，編集広報委員会がアドバイス等に対処可能であるため，投稿規定の末尾にある連絡先まで連絡されたい。

Ⅱ．原著執筆書式

1．執筆要項

12,000 字 (刷り上がり 12 頁程度)以内とする。ただし，図，表，写真は，1 点 につき概ね 400 字に該当するものとし，それぞれに表題を記載し，挿入箇所を本文に明記する。また，図説は本文の最後に記載する。本文は Microsoft Word で作成し，表は Microsoft Word もしくは Microsoft PowerPoint，図，写真は Microsoft PowerPoint を使用する。原稿は Email

Presented by Medical*Online

添付で，投稿レターを添えて編集広報委員会委員長に送付する（送付先は投稿・執筆規定の末尾を参照）。

2. 第 1 頁目

表紙とし「原著」を明記し，日本語と英語でタイトル，著者全員の氏名と所属に加えて，責任著者（連絡責任者）の住所，氏名，電話番号，FAX 番号，E mail アドレスを記載する。なお，タイトル，著者名，所属の記載は下記の形式に従う。

Susceptibility gene for non-obstructive azoospermia in the HLA class II region: correlations with Y chromosome microdeletion and spermatogenesis. Tetsuya Takao[1)], Akira Tsujimura[1)], Masaharu Sada[2)], Reiko Goto[2)], Minoru Koga[3)], Yasushi Miyagawa[1)], Kiyomi Matsumiya[1)], Kazuhiko Yamada[2)], Shiro Takahara[1)]

1) Department of Urology, Osaka University Graduate School of Medicine, Suita, Osaka, Japan

2) Department of Regenerative Medicine, National Cardiovascular Center, Suita, Osaka, Japan

3) Department of Urology, Osaka Central Hospital, Osaka, Japan

心移植における FlowPRA 法を用いた HLA 抗体検出の意義

山本 賢[1)]，佐藤 清[1)]，佐田 正晴[2)]，永谷 憲歳[2)]，中谷 武嗣[3)]

1) 国立循環器病センター臨床検査部

2) 国立循環器病センター再生医療部

3) 国立循環器病センター臓器移植部

3. 本文-1：日本語での投稿

・2 頁目から，和文要旨（400 字以内）および 250 words 以内の英文要旨，キーワード（日本語および英語，それぞれ 5 語以内)を記載する。なお，

Presented by Medical*Online

英文要旨について，著者グループのみでは作成が難しい場合には，編集広報委員会 による対応も可能であるので，投稿レターにその旨を明記すること。

・ページ替えして，「はじめに」，「材料と方法」，「結果」，「考察」，「謝辞」， 「利益相反事項の開示」，「引用文献」，「図説」の順に記載する。

① 専門用語以外は常用漢字，新かな遣いに従い記述する。
② 本文中の英単語は固有名詞を除き全て小文字で統一する。
③ 地名，人名，学名は原語のまま用い，薬品名は一般名を用い商品名は括弧内に記す。
④ 単位，数量は国際単位(cm，ml，g，Kg，pg，μl，%，℃など)を，数字はアラビア文字を用いる。単位と数字の間には半角スペースを入れる。
⑤ 遺伝子名（シンボル）はイタリックで表記する。例えば，HLA-DRB1（タンパク名として用いる場合はイタリックにしない）

4. 本文-2：英語での投稿

・2 頁目に 250 words 以内の要旨，キーワード(5 語以内)を記載する。

・3 頁目より，「Introduction」，「Materials and Methods」，「Results」， 「Discussion」，「Acknowledgements」，「Disclosures」，「References」，「Legend to Figures」の順に記載する。

① 地名，人名，学名は原語のまま用い，薬品名は一般名を用い商品名は括弧内に記す。
② 単位，数量は国際単位(cm， ml， g， Kg， pg，μl， %，℃など)を，数字はアラビア文字を用いる。単位と数字の間には半角スペースを入れる。
③ 遺伝子名（シンボル）はイタリックで表記する。例えば，HLA-DRB1（タンパク名として用いる場合はイタリックにしない）

Presented by Medical*Online

5. 本文-3：略語一覧の作成【作成要項】

① 略語はアルファベット順に並べる。

② 略語の後に「：」を入れ，フルスペル（先頭のみ大文字とし，他は小文字とする）を記載する。

例）LCT：Lymphocyte cytotoxicity test

③ 商品名は略語一覧に入れない

6. 利益相反事項の開示（日本語，英語いずれの場合とも）

学会 HP にある取り扱い（ https://jshi.smoosy.atlas.jp/ja/coi_2024）に掲載されている「COI があるとして申告する範囲に関する規則（JSHI_COI 規則（2023.9.15 改訂）」を必ず参照し，申告すべき利益相反事項がある場合には，COI 申告_様式２を用いて申告することとし、原稿とともに編集広報委員会委員長に送付すること（送付先は投稿・執筆規定の末尾を参照）。

また，論文等では、本文の末尾で引用文献の前に，以下を明記すること。

＊申告すべき利益相反事項がない場合

(和文) 利益相反：申告すべき事項なし

(英文) Disclosures: none to declare

＊申告すべき利益相反事項がある場合（事項に応じて記載する。以下は例示）

(和文) 利益相反：以下の利益相反事項があります。

本論文の内容に関連して，著者○○が△△社より受けた講演料（□円）

本論文に記載した研究は，●社から受けた研究費（■円）による。

(英文) Disclosures:

○○（著者名）received a reward for lecture from （営利企業名）

This study was conducted by a research fund from （営利企業名）

7. 引用文献

引用文献は本文中の引用箇所の右肩に片カッコ付きで番号を付し，引用順に一括して，以下の例に従って，著者名，論文名，雑誌（もしくは書）名（英文

Presented by Medical*Online

の場合はイタリック表記），巻（号），最初と最後のページ，発表年を記載する。著者名，編集者名は筆頭者から 3 名まで列記し，4 名以上は他または et al.とする。なお，引用論文の（号）については，原則として記載するものとするが，存在しないあるいは不明な場合には不記載を可とする。

1. Shi Y, Yoshihara F, Nakahama H, et al.: A novel immunosuppressant FTY720 ameliorates proteinuria and alterations of intrarenal adrenomedullin in rats with autoimmune glomerulonephritis. Regulatory Peptides 127(1-3): 233-238, 2005.
2. Tongio M, Abbal M, Bignon JD, et al.: ASH#18: HLA-DPB1. Genetic diversity of HLA Functional and Medical Implication (ed. Charron D), Medical and Scientific International Publisher, p.134-136, 1997.
3. 難波行臣，今尾哲也，石黒 伸 他 ： 既存抗体陽性生体腎移植後に生じた抗体関連型拒絶反応に対して血漿交換および免疫グロブリン大量療法（IVIG）が奏効した１例. 血管外科 17(1): 36-40, 2005
4. 佐田正晴，高原史郎 ： 腎移植-組織適合と拒絶反応. 新図説泌尿器科学講座 6「腎疾患，神経泌尿器科，老年泌尿器科」（吉田修 監修），Medical View 社，p.120-125，2000.

Ⅲ. 短報（研究速報，技術速報などを含む），症例報告執筆書式

1. 執筆要項

6,000 字（刷り上がり 6 頁程度)以内とする。ただし，図，表，写真は，1 点につき概ね 400 字に該当するものとし，それぞれに表題を記載し，挿入箇所を本文に明記する。また，図説は本文の最後に記載する。本文は Microsoft Word で作成し，表は Microsoft Word もしくは Microsoft PowerPoint，図，写真は Microsoft PowerPoint を使用する。原稿は Email 添付で投稿レターを添えて編集広報委員会委員長に送付する（送付先は投稿・執筆規定の末尾を参照）。

Presented by Medical*Online

2. 第 1 頁目

表紙とし「短報」「症例報告」を明記し，日本語と英語でタイトル，著者全員の氏名と所属，連絡責任者の住所，氏名，電話番号，FAX 番号，E-mail アドレスを記載する。タイトル，著者名，所属等の記載は「原著」の形式に従う。

3.本文(日本語および英語での投稿)

・２頁目に，英文要旨（200 words 以内），キーワード（3 語以内）を記載。

・３頁目以降は，原著執筆書式 3.の 3 頁目以降に準じる。

Ⅳ. 総説，シリーズその他

日本語，英語のいずれも可とする。概ね 6,000～12,000 字（刷り上がり 6～８頁）程度とし，利益相反事項の開示を含めて，上記の原著執筆書式に準じるが，本文構成の一部（「材料と方法」，「結果」，「考察」等）については，適宜変更することも可とする。

Ⅴ. 原稿送付先

日本組織適合性学会 編集広報委員会
委員長 黒田 ゆかり
E-mail: mhc.edit.office@soubun.org

Presented by Medical*Online

論文投稿チェックシート（2025.2.6 制定）

MHC に投稿する論文等（原著，総説，シリーズ，短報，症例報告）の作成において，以下に示す**研究不正行為等がないこと**を申告します。

※特定不正行為や特定不正行為以外の研究不正行為等がない場合には、該当する□に✓を入れること。また、生成 AI の使用範囲については、該当する□に✓を入れること。

特定不正行為

□　**捏造**（存在しないデータ，研究結果等の作成）

□　**改ざん**（研究資料・機器・過程を変更する操作を行い，データ，研究活動によって得られた結果等を真正でないものに加工）

□　**盗用**（他の研究者のアイディア，分析・解析方法，データ，研究結果，論文又 は用語を当該研究者の了解又は適切な表示なく流用）

特定不正行為以外の研究不正行為

□　**二重投稿**（他の学術誌等に既発表又は投稿中の論文と本質的に同じ論文の投稿。機関レポジトリーへの収納を含む。ただし，学会・研究会等での発表に関するアブストラクトを除く）

□　**不適切なオーサーシップ**(論文著作者を適正に公表せずに論文を投稿する行為)：不適切なオーサーシップには、「ギフトオーサーシップ」(論文に直接的貢献をしていない人を著者として記載),「ゴーストオーサーシップ」(研究論文に対し有意義な貢献をした人々が,共著者として示されていない),「ゲストオーサーシップ」（当該研究領域の有名研究者を共著者に招いて審査を有利に進めようとする行為）が含まれる。

Presented by Medical*Online

生成 AI（文章作成ツール、ChatGPT など）の使用

□ MHC への投稿文章の作成において，生成 AI は一切使用していません。

□ MHC への投稿文章の作成において，生成 AI を使用しましたが，文章校正のみに限りました。

日付：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

全著者名：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

責任著者氏名：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

責任著者署名（自署）：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

※本チェックシートを作成後 pdf にして論文投稿に添えること。

Presented by Medical*Online